

好きです!! にしわき わたしのふるさと

今、この時を輝いて生きる
一次世代につなぐ、心豊かな人づくり、まちづくり—
教育委員会や学校園の情報をお知らせします。



▲重春小学校の入学式（平成27年4月）

保護者の皆さんへ— 小・中学校の就学通知書を送付します

平成28年4月に小・中学校へ入学予定の方には、1月中旬に住民登録に基づいて、お子さんが入学する指定校への「就学通知書」を送付します。なお、特別な理由がある場合には、入学する学校を変更することができます。

【特別な理由とは】

- ①地理的理由
指定校への通学が地理的に著しく困難または危険な場合
- ②身体的理由
特別支援学級入級希望者で、指定校に特別支援学級が設置されていない場合
- ③家庭事情に関する理由
▽保護者の就労・病気等のため、指定校区以外の家庭で児童生徒の保護が必要な場合、または保護者が指定校区以外の就労場所等で児童生徒の保護が必要な場合
- ④その他の理由
▽特認校制度を利用して双葉小学校への入学を希望する場合

【手続きの方法は】

- 申請書の提出が必要です。提出先は次のとおりです。
- ①指定校以外の西脇市立学校に入学し印鑑を持って市教育委員会へ
- ②他市町立の学校に入学し入学を希望する学校の市町教育委員会へ
- ③国立・私立の学校に入学しその学校の入学許可書と印鑑を持って市教育委員会へ
- ※いずれの場合も事前にお問い合わせください。
- * * *
- 問合せ
市教育委員会学校教育課
(市役所内線534)



心のスケッチ 語り継ぐことの大切さ 83 人権教育室コラム

昨年11月21日に重春小学校で開催した西脇市人権教育研究大会の全体会において、シンガーソングライター石田裕之さんに「生きる!というこ」と被災地を訪ねて」と題して、じんけんコンサートをしていただきました。

石田裕之さんは音楽活動とともに、東北地方での被災地支援活動を精力的に行われています。石田さん自身も21年前の阪神淡路大震災を神戸で経験されました。そのときの経験が、東日本大震災が発生してすぐに被災地の支援活動に参加されるきっかけとなったそうです。そして、今も月一度のペースで支援活動を継続されています。

初めて被災地を訪ねられたとき「被災された直後の方々の前で歌を歌って、本当に喜んでもらえるのだろうか」と不安があったそうです。しかし、石田さんの温かい人柄と優しい歌声が元氣と勇気を届け、さまざまな場所でコンサート開催の依頼があり、被災者の方々に受け入れられるようになりました。今回のコンサートを通して、私自身が感じたことは「被災地の人たちのことを絶対に忘れてはならない」ということでした。

今年で、阪神淡路大震災から21年目を迎えます。復興は確実に進み、ほとんど災害の爪跡は残っていないように見えます。しかし、被災者の心の中には被災した経験が心の傷として今も深く残っているのではないのでしょうか。そして、東日本では大震災からもうすぐ5年目を迎えますが、復興はまだ始まったばかりだと言われています。私たちにできることは、被災地の方々の思いに寄り添い、震災で得た教訓を後世に語り継ぎ、風化させないことではないでしょうか。

(人権教育室)



じんけんコンサートで熱唱する石田さん

あぐいこうん 89 自然の恵みを人から人へ



市では「西脇ファーマーズブランド」を通じて、市内産農産物の魅力向上、自然にやさしい安全・安心な農産物の生産拡大を進めています。

親子で巻き寿司体験!食育料理教室

西脇市では一人ひとりの健全な食生活の実現、食文化の継承、健康の増進などを図るため、食について考える習慣や知識、判断力を身に付けるための学習など「食育」に力を入れています。

そういった中で、農林振興課では「農」に親しみを持ってもらいたいとの思いから、市内中学校園の給食に地元特産品「黒田庄和牛」や「金ゴマ」を提供しています。ほかにも農家の方々に協力いただき、市内で収穫された新鮮で安全・安心な野菜を学校給食に利用できるよう取り組んでいます。

また、食と農の大切さを知ってもらうため、毎年、親子食育料理教室を開催しています。市内の特産品加工工

品「黒田庄和牛」や「金ゴマ」を提供しています。ほかにも農家の方々に協力いただき、市内で収穫された新鮮で安全・安心な野菜を学校給食に利用できるよう取り組んでいます。

また、食と農の大切さを知ってもらうため、毎年、親子食育料理教室を開催しています。市内の特産品加工工

品「黒田庄和牛」や「金ゴマ」を提供しています。ほかにも農家の方々に協力いただき、市内で収穫された新鮮で安全・安心な野菜を学校給食に利用できるよう取り組んでいます。

また、食と農の大切さを知ってもらうため、毎年、親子食育料理教室を開催しています。市内の特産品加工工

西脇市消費生活センター No.124 若者を狙う自己啓発セミナー

【事例】「自分を変えられる」「本当の自分を見つけ可能性を開く」「人を動かせる力が身に付く」「就職に有利」などSNSで知人に勧められ、自己啓発セミナーに参加。主催者の発言に深い感銘を受け、100万円の起業スクールに入会。費用はサラ金数社から借り入れるようアドバイスされるという被害が若者(主に大学生)に広がっています。

これは、次々と高額な講座を受講させられ、いずれは友人を勧誘するよう強制される商法です。能力開発セミナーや自己啓発セミナー、起業セミナーなどがありますが、次第に本来の目的から逸脱していく場合が多く、一度はまり込んだら洗脳された状態から抜けられなくなる怖さがあります。さらに大学や会社を辞めるなど、人間関係や生活に支障をきたすケースが見受けられます。

20歳になると未成年と違い自分の意思で自由に契約できます。契約は法律で拘束されるため、成立した契約を守らないと裁判で訴えられる可能性もあります。何かおかしいと感じた時は、消費生活センターにご相談ください。

「日本のへそ西脇・おもてなしイベント」を開催

- とき 2月13日(土) 午前9時30分～午後4時
2月14日(日) 午前10時～午後3時30分
- ところ 西脇ロイヤルホテル2階ホール
- 問合せ 農林振興課 (市役所内線322・323)

2月13日(土)、14日(日)の2日間、西脇ロイヤルホテルで、「日本のへそ西脇・おもてなしイベント」(仮称)を開催します。

西脇市の新作グルメ「西脇ローストビーフ」のお披露目、全国14の酒蔵の銘酒が勢揃いする「こだわりの日本酒Bar in にしわき」を実施します。

ほかにも地元食材を使用した料理や西脇市産イチゴを使用したスイーツなど西脇の「食」を堪能できるイベントです。

○新しい西脇グルメ「西脇ローストビーフ」

「西脇ローストビーフ」は市の特産品である黒田庄和牛を使った新しい西脇グルメで、市民や市内飲食店関係者が集まり考案されました。



2月13日を皮切りに西脇ロイヤルホテルほか市内取扱店舗で各店独自のメニューをご賞味いただけます。

○こだわりの日本酒Bar in にしわき

西脇市で生産された酒米の王者・山田錦を使用した大吟醸酒など、各酒蔵のブースでこだわりの日本酒を試飲できます(有料)。

